



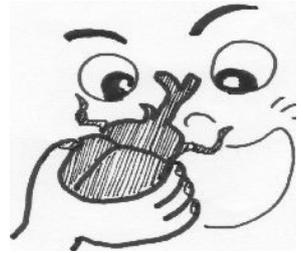
体験！イエス様との出会い

(2011年度『牧羊者』夏期学校教案)

「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがない」

(ヨハネ 4・14)

- ★ 第1課 キリストによる喜びの日々 (ヨハネ4・5 ~14)
- ★ 第2課 十字架による救い (ヨハネ4・5~14)
- ★ 第3課 心にキリストを迎える (ルカ19・1~10)



二〇一一年度の夏期学校教案を発送できます
ことを感謝いたします。
早速、教案について説明させていただきます。

一、宛先について

注文された各教会に1部ずつお送りします。必
要な部数をコピーして用いてください。

夏期教案は、三回のメッセージと、それぞれに
ワークがあります。夏期学校は、小学生が主なメ
ンバーになると思います。ワークは、1〜3年生
を対象にした「下級」、4〜6年生を対象にした
「上級」の2種類を用意しました。

しかし、子どもの信仰、学年、理解力の程度に
応じて、先生方が選んで用いてください。

二、カリキュラムについて

今年の夏期教案のテーマは、「体験！イエス様
との出会い」としました。各課において、イエス
様に会った人々(サマリヤの女、十字架上の強
盗、ザアカイ)を取りあげています。今年の夏期
学校が、子供たちとイエス様との出会いの時とな
ることをお祈りしています。

第一課 「キリストによる喜びの日々」

夏にふさわしく、喉の渇きを取り上げながら、
神様から離れた人間の心の渇きに目を向けさせ
ます。その上で、永遠にかわくことのないのち
の水(霊的な命、喜び)を与えてくださるイエス
様に目を向けさせます。

第二課 「十字架による救い」

救いは、イエス様の身代わりの十字架によるこ
とを示した上で、どのように救いを得るのかを伝
えます。十字架上の強盗のように、自分の罪を認
め、悔い改めて、イエス様を救い主、主として心
に信じるよう招きます。

第三課 「心にキリストを迎える」

夏期学校最後のメッセージとして、イエス様を
信じた者の心の変化に焦点を当てます。既にイエ
ス様を信じた者にとっては、夏期学校から帰った
後の生活をイエス様にゆだね、お従いしていける
ように、信仰の決断を迷う者にとっては、最後の
招きの時となるように、祈りをもってお語りくだ
さい。

三、執筆担当者

今回、執筆の御勞をとってくださったのは、
次の先生方です。心から感謝いたします。

メッセージ例 今田好一師

下級ワーク 梅原基師

上級ワーク 土屋開夫師

最後に、各教会のバイブルキャンプ・夏期学校
の上に、祝福をお祈りいたします。

CS局長 長尾秀紀



2011年度夏季教案カリキュラム「体験！イエス様との出会い」

番号	タイトル例	テーマ	聖書	暗唱	暗唱聖句	目標
1	つきない喜びの日々	キリストによる喜びの日々	ヨハネ4・5-14	14	わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがない。	キリストとの出会いを通して、尽きない喜びの生涯に導かれる。
2	もらえる！天国の希望	十字架による救い	ルカ23・39-43	43	よく言っておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。	どんな人でも救う十字架の救いを知り、悔い改めと信仰によって救いを得る。
3	出会いは君を変える	心にキリストを迎える	ルカ19・1-10	6	急いでおりてきて、よろこんでイエスを迎え入れた。	心にキリストをお迎えし、変えられた生涯を送る。

付記：全体として、イエス様に会った3人の人々のストーリーを学びながら、イエス様との出会いへと招く内容になっています。

1では、サマリヤの女の例を通して、神様から離れた人生の空しさを覚えさせつつ、キリストとの出会いによる喜びの生涯へと招きます。

2では、強盗でも救われた所から、すべての人を救う十字架の救いのすばらしさを示しつつ、罪の悔改めとイエス様への信仰に招きます。

3では、イエス様との出会いのすばらしさを、特にザアカイの前後の変化に焦点を当てて示しつつ、イエス様を心に迎える決心へと招きます。

第一課 キリストによる喜びの日々

聖書 ヨハネ4・5〜14

暗唱聖句 わたしが与える水を飲む者は、いつま

でも、かわくことがない

ヨハネ4・14

目標 キリストとの出会いを通して、尽きな

い喜びの生涯に導かれる。

導入

(今田好一)

皆さんは、井戸を見たことがありますか？私
子どもの時に住んでいた家には井戸がありまし
た。穴を深く掘ると、底から水が湧いてきます。
それを長いロープの先にバケツをつけたもので
汲み上げます。そして、飲み水や生活に使いま
す。しかし、井戸の水は雨が降らない日が続くと、カ
ラカラに乾いて水がなくなってしまうことがあ
ります。

渇くことのない永遠の命の水

サマリヤという町の井戸のそばで、イエス様は
ひとりの女の人に出会いました。そして、イエス
様はこの女の人にこう言われました。「わたしが
与える水を飲む者は、いつまでもかわくことがな
いばかりか、…永遠の命に至る水が、わかあが
る」。この「かわくことのない永遠の命の水」つ
て何でしょうか？

イエス様はこの女の人の中の心をよく知って
おられました。彼女が、飲む水はここにあって、
心の中は、本当は渴いたままだということを知っ
ておられたのです。

私たちはのどが渇くと、水がほしくなります。

人間はずっと水を飲まないでいると、脱水状
態になり、病気になるで死んでしまいます。
それは、私たちの心も同じです。からからの
心のままでは、苦しくて、死んだ心のように
なってしまう。

私たちの心が渴いてしまうのはなぜでしょ
うか。それは、私たちが罪を犯し、私たちを
造り、私たちを愛していただくさる神様から
離れてしまうからです。私たちは、神様の愛
の中で生きるように造られました。この神
様に背を向けて生きるとき、心は虚しくなり、
かわいてしまいます。

パスカルという人は、人間の心には無限の
大きさをもった空洞があると言いました。私
たちは、その空洞を色々なもので満たそうと
します。ゲームをしたり、お笑いを見たり…。

その時は楽しいのですが、終わればまたつま
らなくなり、渴いてしまいます。私たち
の心の空洞を本当に満たすことができるのは、
無限のお方、つまり神様だけだと言うのです。

イエス様は、私たちの罪を赦し、私たちが
神様の愛のもとでもう一度生きることができ
るようにしてください。救い主です。イエス様
だけが、私たちに決して渴かない命の水を与
えてくださいます。

皆さんもこの水を飲みたいと思いませんか。

尽きることのない喜びの生涯

それでは、どのようにしてイエス様から命
の水をいただくことができるでしょうか。ひ
と言で言えば、自分自身の心の状態を正直に

イエス様に申し上げ、イエス様を心に信じ、
罪を赦して頂くことです。

彼女は、あまり人には言いたくない、他人
から後ろ指を差されるような罪人としての人
生を歩んでいました。普通なら、暑い昼間に
水をくみに来ずに、朝の涼しい時に水をくみ
に来ます。でも、彼女は人目を避け、他の人
が水をくみに来ない暑い昼の時間にわざわざ
水をくみに来たのです。

実は、彼女には、今までに五人の夫がいま
した。五回結婚して、五回とも離婚していま
した。しかも今は、結婚もしないで男の人と
暮らしています。ですから、町の人たちから
は、いつも冷たい目で見られていました。イ
エス様はそのことを全部知っておられた上で
この女の人に、「あなたの夫を…ここに連れ
てきなさい」と言われました。彼女は「わた
しには夫がありません」と正直に答えました。
自分のことをすべて言いあてたイエス様に出
会って、彼女はイエス様を信じた。彼女は
罪を赦された喜び、イエス様を信じた喜
びで一杯になりました。そして、あれほど会
うのがいやだった町の人々の所に会いに行き、
イエス様のことを人々に紹介しました。彼女
は、イエス様から尽きることのない喜びの生
涯をいただいたのです。

結論

今皆さんの心はどうでしょうか。イエス様
を心に信じ、罪赦されて、喜びの生涯を送り
ませんか。

第二課 十字架による救い

聖書 ルカ23・39〜43

暗唱聖句 よく言っておくが、あなたはきよう

わたしと一緒にパラダイスにいる

であろう ルカ23・43

目 標 どんな人でも救う十字架の救いを

知り、悔い改めと信仰によって救いを得る。

導入

(今田好一)

イエス様の救いは、ここにいる皆さん一人ひとりのためのものです。ぜひこのキャンプを通して、イエス様の救いを受け取ってほしいと思います。

イエス様は、生涯の終わりをどのように迎えられるか、知っていますか。十字架につけられて死なれました。それは、私たちの罪を赦すため、全世界の人々の罪を赦して救うためでした。

十字架による処刑は、ローマ帝国が犯罪人を死刑にする時のもっとも残酷な方法でした。イエス様は無罪でありながら、二人の犯罪人とともに十字架につけられました。ところが、この二人の犯罪人は、十字架につけられるような恐ろしい罪を犯しましたが、そのうちの一人は救われました。でも、もう一人の犯罪人は救われませんでした。何が違っていたのでしょうか。

自分の罪を認めない犯罪人

犯罪人のうちの一人はこう言いました。「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、われわれを救ってみよ」。ところが、もう一人の犯罪人は、こう言いました。「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか、お互いには自分のやった事のむくいをうけているのだから、こうなったのは当然だ」。

最初の犯罪人は、ひどい罪を犯して十字架にかかっていたのに、そのことを忘れ、イエス様に悪口を言い続けました。ところが、もう一人の犯罪人は、自分が十字架につけられるような罪を犯したことを、認めました。

まず、私たちがイエス様の救いを頂くためには、自分の罪を認める必要があります。「十字架につけられるような罪は犯していない」と思いかもしれません。確かにそうです。でも、イエス様に身代わりに十字架に死んでもらわなければならぬような罪は、犯しているのです。ウソをついたこと、人の物を盗んだこと、人をいじめたり、いじわるしたこと、そして、何より、本当の神様を無視して生きてきたこと。そんなすべての罪のために、イエス様は十字架に死んでくださいました。

イエス様を信じた犯罪人

もう一人の犯罪人は、はじめはイエス様の悪口を言っていました。イエス様のご様子を見るうちに、イエス様が普通の人間ではなく、神

の御子であり、救い主キリストであると信じるようになりました。そして、イエス様に言いました。「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」と。これに対して、イエス様は言われました。「よく言っておくが、あなたはきよう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

大きな罪を犯してきた犯罪人ですが、彼は十字架の上でイエス様に出会いました。そして、このお方を信じ、十字架による救いを頂きました。そうです。イエス様の救いを頂くために必要なのは、自分が罪人であると認め、イエス様を心に信じて受け入れる信仰だけなのです。

スポルジョン少年は、自分の罪が分かり、悩んでいました。救われたいと願いましたが、どうしたらいいのか、分かりませんでした。ところが、冬のある大雪の日、入り込んだ教会で、「わたしを仰ぎのぞめ」との御言葉を繰り返す聞きました。彼は、信仰をもって救い主を仰ぐことだけが、救いの道であることを知りました。

イエス様の招き

十字架に死なれ、三日目によりみがえられたイエス様は、今この時も、私たちを招いておられます。今信じて、心にイエス様を迎えませんか。

第三課 心にキリストを迎える

聖書 ルカ19・1〜10

暗唱聖句 急いでおりてきて、よるこんでイエスを迎え入れた。 ルカ19・6

目 標 心にキリストをお迎えし、変えられた生涯を送る。

導入

(今田好一)

キャンプ最後のメッセージとなりました。前回、イエス様を心にお迎えする人は、どんな人でも救われることをお話ししました。それでは、私たちがイエス様を心にお迎えしたら、私たちの心にどんな変化が起こるのでしょうか。

イエス様に出会う前のザアカイ

エリコという町に取税人の頭で、ザアカイという人がいました。ザアカイという名前は「清い」、「純粹」という意味からきています。しかし、人は名前の意味とは全く違う人生を歩むことがよくあります。実はザアカイは皆から嫌われ、軽蔑されてきました。なぜなら彼は取税人の頭だったからです。取税人とは、ユダヤ人からローマに収める税金を集めるのが仕事ですが、決められた金額の何倍もの税金を集め、その差額を自分のものにしていました。ザアカイはその頭でした。「清い」とか、「純粹」とか、とても言えない、欲で一杯の生活をしていました。お金持ちでしたが、人々から嫌われ、心にはいつも寂しい、虚しい思いがありました。

イエス様との出会い

やがてザアカイは、ビッグ・ニュースを聞き

ました。体の不自由な人や重い病氣の人、世間から見放された人々を癒された、あの有名なイエス様がこの町を通られるというのです。一目だけでも見たい、見ずにはおれないと思いました。

しかし、背の低いザアカイは、皆に邪魔されて見ることができませんでした。そこでザアカイはいちじく桑の木の上に登り、そこからイエス様の通られるのを、誰にも知られないように身を隠して見ようとしました。ところが丁度イエス様がその木の下に来られた時、そんなザアカイに声をかけられました。「ザアカイよ、急いで下りてきなさい」。それだけではなく、主は「きよう、あなたの家に泊まることにしているから」と言われました。彼は大喜びで、急いで下り、イエス様を自分の家にお迎えしました。名前を呼ばれたザアカイはどんなにびっくりしたでしょう。イエス様は、私たちがどんなに自分を隠そうとしても、私たちの名前も、私たちの状態も、私たちの心の中も全部知っておられます。その上で、主と共に生涯を歩むようにと招かれるのです。

イエス様に出会った後のザアカイ

イエス様を家に迎えたザアカイは、イエス様と食事をしながら、立ち上がりました。そして、「財産の半分を貧民に施します。また、もしだれかから不正な取立てをしていましたら、それを四倍にして返します」と言いました。これはザアカイの公衆の前での信仰告白、罪の告白と悔い改めでした。

イエス様を心にお迎えるとき、私たちの心は神

様に愛されている喜びで一杯になります。そして、神様が喜ばれないことはしたくない、神様に喜ばれる者になりたいと思います。自分でそうしようと思うよりも、心にお迎えしたイエス様が、私たちの心を変えてくださるのです。

「イエス様を信じたのはいいけど、キャンプから帰って、自分はどう生きていきたいんだろう」、そんな疑問があるでしょうか。大丈夫、イエス様に一つひとつお尋ねしながら進んでいけば、イエス様が正しい道の一つひとつ教えてくださいます。

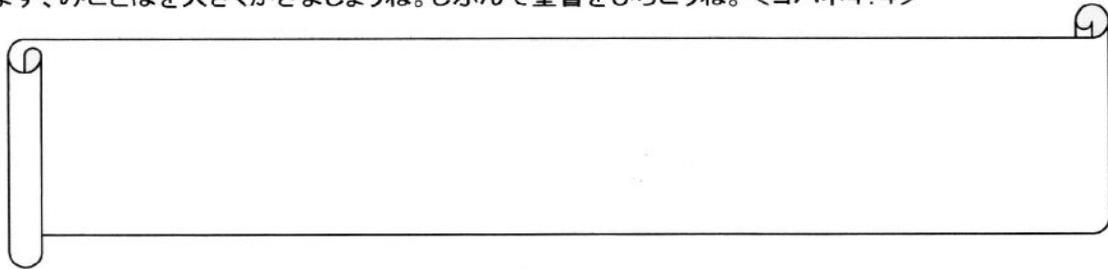
学校で友達をいじめていた男の子がイエス様を信じて次に学校へ行った時、先生にそのことを話し、自分がいじめていた友達に謝りました。初めはみんな信じませんでした。でも一生懸命に謝ったので赦してもらうことができました。その日からその男の子は、皆が嫌がる仕事を進んでするようになりました。

どのようにイエス様をお迎えするか

さて、イエス様をどのように心にお迎えしたらよいのでしょうか。ザアカイの姿を通して、もう一度確認してみましょう。

ザアカイは、登っていた木から下りました。私たちも、「神様なしでもやっていける」という、高ぶりの木に登っていないかたでしょうか。「イエス様なんて信じられない」という、不信仰の木に登っていないかたでしょうか。そんな高ぶりの木、不信仰の木から下りましょう。そして、信仰をもって、今一度、イエス様を心の中に迎え入れましょう。そして、これからの生涯、イエス様と共に歩いていきましょう。

まず、みことばをおお大きくかきましようね。じぶんでせいしょ聖書をひらこうね。〈ヨハネ4:4〉



1. イエスさまがおっしゃったのは、「どんなお水」だとおもいますか？○をつけてね。
- ①いどの水 ②えいえんのいのちのちにある水 ③コココーラ ④てんねんすい
⑤わたし(イエスさま)があたえる水



2. サマリヤの女の人は、いどのところでだれとお話をしましたか？

○ ○ ○ ○ ○



3. この女の人はどのようにして、イエスさまから、いのちの水をいただきましたか？

()に下のことばをじゅんぱんにいれて、かんせいさせましよう。

おっと しょうじき すく めし つみ
・夫 ・正直 ・救い主 ・すぐに ・罪をゆるされた

女の人は、「わたしには()がありません。」と()に、イエスさまにもうしあげました。

そして、イエスさまを「わたしの()」と()信じました。女の人の心は、

()よろこびでいっぱいになりました。すると、その心にはいのちの水が

わきあがりました。すくわれたことがわかったのです。



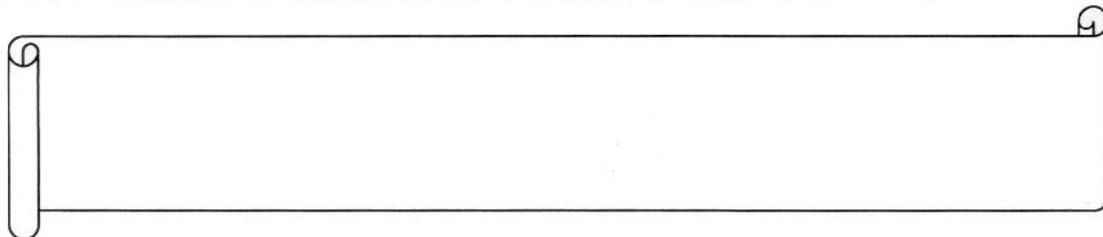
みなさんは、この女の人のようなおとなではありませんが、罪で心がかわくことがありますか？
「じぶんもある」というのなら、イエスさまをしんじて下さい。そして、いのりましよう。

☆たいせつなおいのり☆

わたし<名前を入れて>は、罪があつて心がかわきます。イエスさまを、わたしの救い主としんじますから、罪をゆるしていのちの水をおあたえください。イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン。

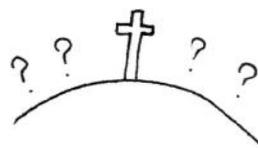


まず、みことばを大きくかきましょうね。じぶんで聖書をひらこうね。〈ルカ23:43〉



1. イエスさまが十字架にかかられたとき、ほかに何人の「犯罪人」がいっしょにいましたか？

- ①1人 ②2人 ③3人 ④いっぱい



2. 犯罪人はどんなことを言っていましたか？1つじゃないよ。

- ①オレには罪はナイ。 ②もうおしまいだ。 ③じぶんがこうなったのはとうぜんだ。
④キリストならオレをたすけてみる。

3. 上の2でえらんだこたえの中で、イエスさまを信じた犯罪人の心は①～④のどれでしょう？

4. 罪ってどんなのでしょうか？よく読んで、かんがえて○をつけてみて下さい。

- ①ウソ ②ぬすみ ③いじめ ④神さまをむして生きること ⑤ズル
⑥神さまによるこぼれないことすべて ⑦ほかにおもいつくものはある？ ()



5. キリストを信じた犯罪人に、イエスさまは「何を」やくそくして下さいましたか？

「あなたはきょう、わたしと()に、()にいるであろう。」それは、天の御国、のことです。

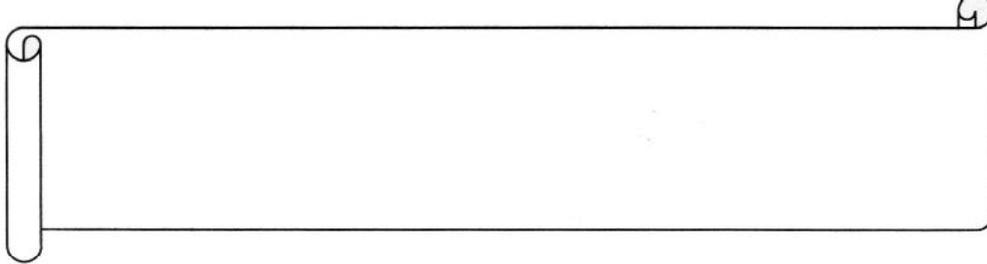
みなさんも、イエスさまを信じた犯罪人のように、心から罪をくいて、イエスさまのみがわりの十字架を
かんしゃするひつようがありませんか？「ある」というのなら、イエスさまを信じて、いのりましょう。

☆たいせつなおいのり☆

わたしく名前を入れて>には罪があるから、イエスさまを、神の御子、わたしの救い主
としんじます。罪をゆるして、いつもわたしといっしょにいて下さい。イエスさまのお名前
よっておいのりします。アーメン。



まず、みことばを大きくかきましようね。じぶんで聖書をひらこうね。<ルカ19:6>



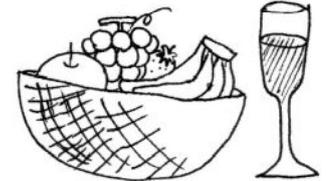
1. 取税人のザアカイさんのお名前のいみは、何でしょう？

- ①きよい ②うつくい ③たのしい ④あかるい

2. ザアカイさんがイエスさまに心をひらいたのは、イエスさまがどう言われたからです...

「ザアカイよ、きょう()にとまることにしているから。」

かれは大よろこびでいそいで木からおりておむかえしました。

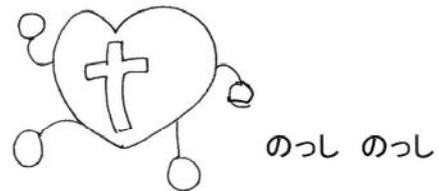


3. イエスさまをおむかえしたザアカイは、じぶんの方からこう言いました。

「もし、だれかからふせいなとりたてをしていたら、それを4倍にしてかえます。」これを

「罪のこくはく」「くいあらため」といいます。どうして、こんなことができるようになるとおもいますか？

- ①神さま、イエスさまにあいされているよろこび
- ②神さま、イエスさまに罪をゆるされたよろこび
- ③神さま、イエスさまによるこぼれたいきもち
- ④これからは正しい生き方をしたい



みなさんも、ザアカイと同じように、心にイエスさまをおむかえするひつようがありませんか？

「ある」というのなら、ぜひ、このキャンプでイエスさまを信じてください。そして、いのりましょう。

☆たいせつなおいのり☆

わたし<名前>をいれてをキャンプからかえったあともおまもりください。

わたしの救い主イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン。

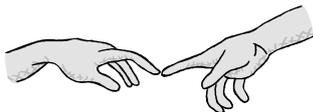


ワーク下級 解説

(梅原 基)

第一課	<p>みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。 先生も大きく書いて手本を示して下さい。</p> <p>●第1問 答えは、②、⑤。(この回答に正解が出れば、この水が靈的命を表わすもので、神様と共に生きる恵みを表わしていることについて話してもいいかも知れません。)</p> <p>●第2問 答えは「イエスさま」。(初めて、参加した子にとっては、一番大事な「質問」です。必ず「出合わなければいけないんだ。」と強調して下さい。)</p> <p>●第3問 答えは、「夫」・「正直」・「救い主」・「すぐに」・「罪をゆるされた」です。(これは、聖書の通りですが、話されたお話の確認と用語のキーワードを印象付けるねらいがあります。)</p> <p>●囲み部分の問い 「ある」という子には、口写しでも下記の祈りを祈らせて下さい。「ない」という子には次のチャンスを！第3問の完成文章を読ませて、終わって下さい。</p>
第二課	<p>みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。 先生も大きく書いて手本を示して下さい。</p> <p>●第1問 答えは②。(聖書で確認させて下さい。(32節))</p> <p>●第2問 答えは③、④。(次の問いへの布石です。)</p> <p>●第3問 答えは③。(自分も同じものを選ぶのか、聞いてみて下さい。)</p> <p>●第4問 答えは全部です。(肝腎なのは、⑦です。①～⑥も、どこまでわかっているかがわかります。特に、④がわかる子は相当理解しています。)</p> <p>●第5問 答えは、「いっしょ」〈共に〉「パラダイス」〈樂園〉。(聖書どおりとお話の中で導きます。パラダイスの説明など、あまり難しいことは省略した方がよいでしょう。)</p> <p>●囲み部分の問い 決心の必要が「ある」という子〈認罪がある子〉には、口写しでも下記の祈りを祈らせて下さい。「ない」という子には次のチャンスを！第5問の完成文章を読ませて、終わって下さい。</p>
第三課	<p>みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。 先生も大きく書いて手本を示して下さい。●第一問 答えは、「お金」。</p> <p>●第1問 答えは、①。(お話との関連で。)</p> <p>●第2問 答えは「あなたの家」。(お話の反復、確認です。)</p> <p>●第3問 答えは全部です。(その子がどれを正解にするかで、魂を建設的にキリストにつなげて下さい。「キミも同じだね」と励ましましょう。)</p> <p>●囲み部分の問い 最後の「お祈り」です。できるだけ個人個人に確実に口写しで。終わったら、ぜひ、握手をしましょう。</p>

十字架による救い



名前 _____

1. イエス様はどういう方なのでしょう。カッコの中に下の言葉を入れて、文を完成させましょう。

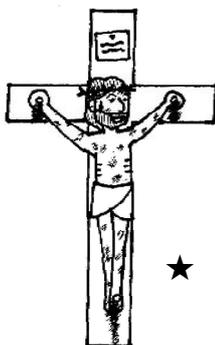
() であるイエス様は私たちが救うために () になって この世に来て下さいました。
 そして () の罪がゆるされるために、() を身代わりに受け、() にかかって死なれ、
 父なる神様に ()、ヨミに下り、
 父なる神様に ()、ヨミに下り、
 このように、イエス様は私たちが () 罪から救ってくださる
 () です。



2. イエス様の十字架の右と左に犯罪人がつけられました。この二人はイエス様に対する心が全く違いました。どう違っていたでしょうか。①～④に続く言葉をそれぞれ○で囲んで下さい。

● ひとり目の犯罪人 ● (39節)	← + →	○ もう一人の犯罪人 ○ (40～43節)
認めた ・ 認めなかった	①自分の つみぶが 罪深さを	認めた ・ 認めなかった
信じた ・ 信じなかった	②イエス様を 神の子と	信じた ・ 信じなかった
お願いした ・ 命令した	③イエス様に 対して	お願いした ・ 命令した
もらった ・ もらわなかった	④天国の約束を	もらった ・ もらわなかった

3. 自分の罪を認め、イエス様を救い主と信じた犯罪人は、イエス様に何と云ってもらったでしょう。
 暗唱聖句を書きましょう。

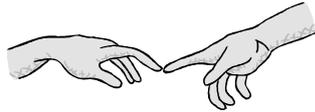


ルカ23・43

★ どんなに大きな罪を犯した人でも、心から自分の罪を認め、悔い改め、イエス様を「神の子、救い主」と信じ、心に受けいれるなら、その人の罪はゆるされ、天国が約束されるのです。

お祈り 「父なる神様、私の罪をゆるして下さい。イエス様は私と一緒に天国に連れて行って下さる (^^) 救い主であると信じます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

心にキリストを迎える



名前 _____

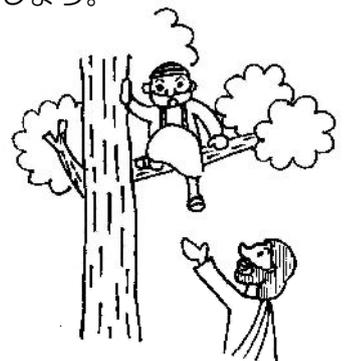
1. イエス様と^{であ}会^あう前、ザアカイがたくさん持っていたものは何でしょう？

2. イエス様と会^あう前、ザアカイが持っていなかったものは何だと思いませんか？

3. イエス様から自分の名前を呼ばれ、「あなたの家に泊まることにしている」と言われた時、ザアカイはどんな気持ちだったと思いませんか？

4. 木に登っていたザアカイはその後どうしたでしょう。^{あんしゅうせいく}暗唱聖句を書きましょう。

ルカ19・6



5. ザアカイはイエス様を家の中に迎えただけでなく、「心の中」に迎えました。そのことによってザアカイは心に何を与えられたと思いませんか？

与えられたと思うものに ○
無くなったと思うものに ×
をつけましょう。



★ イエス様に出会う前、ザアカイにとってはお金が一番大事でした。けれども、イエス様を心に迎え入れて、お金よりもっと^{すば}素晴らしいもので心がいっぱいになりました。それはイエス様によって救われた事です。ザアカイは今までの生き方を悔い^く改^{あらた}め、イエス様と共に生きる、全く新しい生き方^{まった}に変えられました。

お祈り 「父なる神様、神の御子イエス様を私の救い主として心にお迎えします。

(^^) 私の心を新しくして下さい。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

ワーク上級 解説

(土屋開夫)

第一課	<ul style="list-style-type: none">●第一問 暗唱聖句を書き入れます。●第二問 答えは、①。●第三問 あてはまるものを幾つでも○で囲みます。全部に○をつけても正解。●第四問 答えは、⑤。●第五問 答えは、「思わない」。●第六問 答えは、④。●第七問 「永遠の命」「救い」「イエス様」「心の満たし」「喜び」「平安」「真の幸せ」など。
第二課	<ul style="list-style-type: none">●第一問 () に当てはまる言葉を四角で囲まれた言葉の中から選んで当てはめる。 正解は、神のひとり子 人間 私たち 罪の罰 十字架 捨てられ よみがえられ 救い主 の順。●第二問 それぞれ①～④の文に続く言葉の方を○で囲みます。 「ひとり目の犯罪人」は「認めなかった」「信じなかった」「命令した」 「もらわなかった」、「もう一人の犯罪人」は「認めた」「信じた」「お願いした」 「もらった」が正解。●第三問 暗唱聖句を書き入れます。
第三課	<ul style="list-style-type: none">●第一問 答えは、「お金」。●第二問 答えは、「愛されること」「愛すること」「友達」「喜び」「平安」「救い」など。●第三問 「私のことを知っておられる、という喜び」「(友達のいない) 私のような者の家に来て下さる、という喜び」など。●第四問 暗唱聖句を書き入れます。●第五問 ○をつけるのは「イエス様の愛」「見つけてもらった喜び」「人を思いやる心」「与える心」、×をつけるのは「一人ぼっちの淋しさ」「迷子のような不安」「自分の事ばかり」「欲ばりな心」。